

平成 14年 3月期 中間決算短信(連結)

平成 13年 11月 27日

上場会社名 駒井鉄工株式会社

上場取引所 東・大

コード番号 5915

本社所在都道府県

問合せ先 責任者役職名 常務取締役業務本部長

東京都(本店 大阪市)

氏名 海老澤 正博

TEL (03) 3833 - 5101

中間決算取締役会開催日 平成 13年 11月 27日

米国会計基準採用の有無 無

1. 13年 9月中間期の連結業績(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(1)連結経営成績 (注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|-----------|--------|------|-------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 13年 9月中間期 | 15,781 | 13.8 | 200 | - | 168 | - |
| 12年 9月中間期 | 18,307 | - | 745 | - | 767 | - |
| 13年 3月期 | 40,802 | | 1,190 | | 1,235 | |

| | 中間(当期)純利益 | | 1株当たり中間(当期)純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益 | |
|-----------|-----------|------|----------------|---|-----------------------|---|
| | 百万円 | % | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 13年 9月中間期 | 66 | 51.6 | 1.80 | | - | |
| 12年 9月中間期 | 137 | - | 3.72 | | - | |
| 13年 3月期 | 310 | | 8.40 | | - | |

(注) 持分法投資損益 13年 9月中間期 - 百万円 12年 9月中間期 - 百万円 13年 3月期 - 百万円
 期中平均株式数(連結) 13年 9月中間期 36,906,641株 12年 9月中間期 36,906,583株 13年 3月期 36,907,695株
 会計処理の方法の変更 無
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)連結財政状態

| | 総資産 | | 株主資本 | | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|-----------|--------|-----|--------|-----|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 13年 9月中間期 | 77,657 | | 37,236 | | 48.0 | 1,008.94 |
| 12年 9月中間期 | 74,048 | | 38,070 | | 51.4 | 1,031.53 |
| 13年 3月期 | 73,837 | | 37,692 | | 51.0 | 1,021.27 |

(注) 期末発行済株式数(連結) 13年 9月中間期 36,906,641株 12年 9月中間期 36,906,583株 13年 3月期 36,907,695株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 13年 9月中間期 | 239 | 1,115 | 147 | 7,814 |
| 12年 9月中間期 | 2,299 | 697 | 363 | 8,244 |
| 13年 3月期 | 2,844 | 488 | 410 | 8,838 |

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 4社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 - 社

(5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社(除外) - 社 持分法(新規) - 社(除外) - 社

2. 14年 3月期の連結業績予想(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 通期 | 40,000 | 60 | 2,240 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 60円69銭

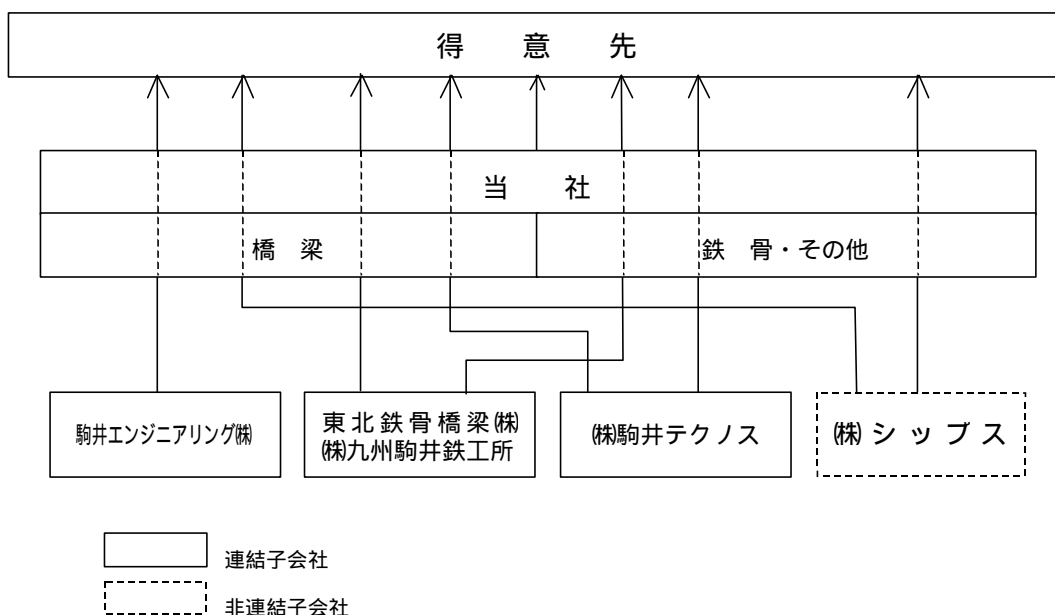
1. 企業集団の状況

当グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社及び子会社6社により構成され、橋梁・水門・鉄骨・鉄塔その他鋼構造物の設計・製作及び現場組立・架設が主な事業であり、これ以外に建設機械、運搬機械等各種機械の設計・製造・据付・販売、複写業務、建材仕入販売、不動産賃貸業等を行っています。

| 事業部門 | 事業内容 | 会社名 |
|--------|----------------------|--|
| 橋梁 | 橋梁・水門の設計・製作及び現場架設 | 当社 東北鉄骨橋梁(株) (株)九州駒井鉄工所 (株)駒井テクノス |
| | 建材の調達 | (株)シップス |
| | 鋼橋の現場工事の施工、維持補修 | 駒井エンジニアリング(株) |
| 鉄骨・その他 | 鉄骨・鉄塔の設計・製作及び現場建方 | 当社 東北鉄骨橋梁(株) (株)九州駒井鉄工所 他1社 |
| | 建材の調達 | (株)シップス |
| | 建設機械、運搬機械等の設計・製造及び据付 | (株)駒井テクノス |
| | 複写業務 | (株)シップス |
| | 不動産賃貸業 | (株)シップス |

(注)平成13年10月1日付で(株)九州駒井鉄工所を吸収合併いたしました。

各子会社は、それぞれ受注活動を行うとともに、当社より工事の一部を受注しており、事業の系統図は次のとおりとなります。



2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当グループは、橋梁事業と鉄骨事業を2本の柱とし、「技術と信頼」をモットーにお客様に信頼される製品を作るため、技術力向上に邁進し、社会基盤整備の一翼を担う企業グループとしての自覚と責任を持って経営を行っております。

(2) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対し事業収益に応じた安定・継続的な利益還元を実施するとともに、長期的に継続した収益確保が見込める経営基盤を作るための内部留保に意を用いることも重要であると考えております。

(3) 中長期的な経営戦略及び対処すべき課題

当社では、昨年4月にスタートした中期経営計画の達成に向け、子会社を含めた生産拠点の効率的運営や組織の活性化を推進し、環境変化に対応できる事業構造への転換を進めております。

この一環として、生産設備の再構築を目的にかねてより建設を進めて参りました富津工場鉄骨加工棟が本年6月末に完成し、東京工場から設備移設を行い、8月より本格的に操業を開始いたしました。これにより、関東地区における橋梁、鉄骨の生産拠点が富津工場に集約され、生産性の更なる向上、コスト削減に向け新たな一歩を踏み出しました。

また、グループ会社を含めた事業の再構築として、本年10月1日付で子会社の株式会社九州駒井鉄工所を吸収合併し、経営資源の有効活用を図ることといたしました。

これら再構築に向けた施策を実施する一方、営業力強化に向けては営業拠点の新設を決定し、本年9月に神戸、10月に岐阜に新たに営業所を開業いたしました。これにより今以上にキメの細かい営業展開を目指し、厳しい受注競争に勝ち残れるよう努力して参ります。

3. 経営成績

(1) 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、米国経済の低迷による輸出の落ち込みや、企業の慎重姿勢から設備投資の減速基調が鮮明になるなど、これまでの景気回復の先導役を失ったことで本格的に調整局面に入り、加えて失業率が5%台を記録するなど雇用環境の悪化を背景に個人消費も低迷が続き、景気後退色が一層強まる中で推移いたしました。

このような情勢の下、連結ベースでの当中間期の受注高は145億円(前年同期比1.3%減)となりました。

また、売上高は鋭意手持工事の消化に努め、157億円(同13.8%減)となり、これにより当中間期末の受注残高は、521億円(同8.0%増)となりました。

当中間期の利益につきましては、受注単価下落による不採算工事が多く、経常損失1億6千8百万円、中間純利益6千6百万円(同51.6%減)となりました。

当中間期の部門別の状況については以下のとおりです。

[橋梁部門]

橋梁は、地方自治体の財政再建に向けた公共事業予算の抑制策に加え、政府の構造改革路線による公共事業の削減、道路特定財源見直しなどの施策の影響により発注量が大幅に減少し、受注単価の下落傾向も続くなど厳しい環境下での営業を強いられました。

このような中で努力した結果、当中間期の受注高は国土交通省北海道開発局の美原大橋、同北陸地方整備局の島崎高架橋、宮崎県の新村所大橋他で 63 億円（前年同期比 6.2%増）を確保することができました。

売上高は国土交通省近畿地方整備局の川北高架橋、同九州地方整備局の二見高架橋他で 100 億円（同 17.5%減）となり、これにより当中間期末の受注残高は 269 億円（同 1.3%増）となりました。

[鉄骨部門]

鉄骨は、首都圏の大型再開発プロジェクトの発注が一段落したことに加え、企業が設備投資を手控える動きも加わり、大型物件の減少が顕著となりました。

これにより、中、小型物件の受注競争が激化することとなり採算的にも厳しさが増す展開となりました。

このような状況の下、当中間期の受注高は東京駅丸の内北口開発計画 B 工区・C 工区新築工事、豊洲変電所増築工事、東大阪市総合庁舎新築工事他で 81 億円（前年同期比 6.3%減）となりました。

売上高は丸の内ビルディング、電通本社ビル、梅田 1 丁目ビル他で 57 億円（同 6.4%減）となり、これにより当中間期末の受注残高は 252 億円（同 16.1%増）となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは 2 億 3 千万円の収入（前年同期比 25 億 3 千万円収支増加）となりました。これは未成工事支出金が 48 億 3 千万円増加したものの売上債権が 15 億 2 千万円減少、未成工事受入金が増加した 37 億 6 千万円増加したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは 11 億 1 千万円の支出（同 4 億 1 千万円収支減少）となりました。これは富津工場鉄骨加工棟建設など有形固定資産取得による支出が 12 億 8 千万円あったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金支払等により 1 億 4 千万円の支出（同 2 億 1 千万円収支増加）がありました。

以上により現金及び現金同等物は 78 億 1 千万円（前連結会計年度末比 10 億 2 千万円収支減少）となりました。

(2) 通期の見通し

今後につきましては、9月に発生した米国の同時多発テロ事件が、後退局面にある世界経済に追い討ちをかける事になり、輸出、設備投資の落ち込み、個人消費の低迷と相まって、わが国経済の回復への道のりも一段と厳しさが増すものと思われま

す。橋梁・鉄骨部門においても、政府の構造改革路線により公共事業の落ち込みが更に加速する事が見込まれ、また、大型工事が端境期を迎える鉄骨部門も中・小型物件に対する質、量共に厳しい受注競争が予想されます。

このような情勢の下グループ各社は、収益確保を第一に総力を挙げてコスト削減策の徹底に傾注いたします。これにより、事業環境に対応できる経営体質への転換を進めていく所存です。また、緊密な連携によるキメの細かい営業展開を図り、厳しい受注競争に勝ち残りを目指して参ります。

通期の業績は、売上高 400 億円、経常損失 6 千万円を見込んでおります。なお、当期純利益につきましては、当社東京工場の土地売却益を特別利益として計上するため、22 億 4 千万円を見込んでおります。

4.中間連結財務諸表等

(1)中間連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 科 目 | 当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在) | 前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在) | 前連結会計年度末 (平成13年3月31日現在) |
|-----------|------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 42,287 | 38,472 | 38,779 |
| 現金預金 | 7,814 | 8,244 | 8,838 |
| 受取手形 | 11,003 | 11,387 | 12,524 |
| 完成工事未収入金 | | | |
| 未成工事支出金等 | 20,936 | 17,774 | 16,104 |
| 繰延税金資産 | 460 | 154 | 82 |
| その他流動資産 | 2,076 | 912 | 1,231 |
| 貸倒引当金 | 4 | 2 | 2 |
| 固定資産 | 35,369 | 35,575 | 35,058 |
| 有形固定資産 | (30,672) | (29,331) | (29,706) |
| 建物・構築物 | 9,491 | 8,237 | 8,103 |
| 機械装置・運搬具 | 3,320 | 3,251 | 2,992 |
| 土地 | 17,299 | 17,359 | 17,379 |
| 建設仮勘定 | 90 | 21 | 719 |
| その他有形固定資産 | 470 | 460 | 511 |
| 無形固定資産 | (269) | (298) | (291) |
| 投資等 | (4,427) | (5,944) | (5,061) |
| 投資有価証券 | 3,473 | 4,702 | 4,076 |
| 長期貸付金 | 286 | 513 | 298 |
| その他投資等 | 650 | 669 | 667 |
| 繰延税金資産 | 17 | 60 | 18 |
| 貸倒引当金 | 0 | 0 | 0 |
| 資産合計 | 77,657 | 74,048 | 73,837 |

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 科 目 | 当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在) | 前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在) | 前連結会計年度末 (平成13年3月31日現在) |
|--------------|------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 36,595 | 28,693 | 30,828 |
| 支払手形・工事未払金 | 10,817 | 8,973 | 10,750 |
| 短期借入金 | 4,500 | 3,600 | 3,450 |
| 一年以内償還予定社債 | 2,000 | - | 2,000 |
| 未払法人税等 | 59 | 337 | 4 |
| 繰延税金負債 | - | 7 | 10 |
| 未成工事受入金 | 13,746 | 13,112 | 9,985 |
| 賞与引当金 | 373 | 367 | 363 |
| 営業外前受金 | 2,050 | - | 2,064 |
| その他流動負債 | 3,048 | 2,295 | 2,200 |
| 固定負債 | 3,824 | 7,284 | 5,316 |
| 社債 | - | 2,000 | - |
| 長期借入金 | - | 800 | 1,050 |
| 繰延税金負債 | 1,715 | 2,022 | 1,874 |
| 退職給付引当金 | 1,862 | 2,266 | 2,154 |
| 役員退職慰労引当金 | 247 | 195 | 237 |
| 負債合計 | 40,420 | 35,978 | 36,144 |
| (資本の部) | | | |
| 資本金 | 6,619 | 6,619 | 6,619 |
| 資本準備金 | 6,273 | 6,273 | 6,273 |
| 連結剰余金 | 23,168 | 23,261 | 23,286 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,174 | 1,914 | 1,511 |
| 自己株式 | 0 | 0 | 0 |
| 資本合計 | 37,236 | 38,070 | 37,692 |
| 負債・資本合計 | 77,657 | 74,048 | 73,837 |

(2) 中間連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

| | 当中間連結会計期間 自 平成13年4月 1日 至 平成13年9月30日 | 前中間連結会計期間 自 平成12年4月 1日 至 平成12年9月30日 | 前連結会計年度 自 平成12年4月 1日 至 平成13年3月31日 |
|-----------------|---|---|---|
| (経常損益の部) | | | |
| 営業損益 | | | |
| 完成工事高 | 15,781 | 18,307 | 40,802 |
| 完成工事原価 | 14,220 | 15,802 | 36,138 |
| 完成工事総利益 | 1,560 | 2,505 | 4,663 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,761 | 1,759 | 3,473 |
| 営業利益 | 200 | 745 | 1,190 |
| 営業外収益 | | | |
| 受取利息配当金 | 30 | 42 | 67 |
| その他営業外収益 | 44 | 27 | 77 |
| 計 | 75 | 70 | 144 |
| 営業外費用 | | | |
| 支払利息 | 43 | 46 | 97 |
| その他営業外費用 | 0 | 1 | 2 |
| 計 | 43 | 47 | 99 |
| 経常利益 | 168 | 767 | 1,235 |
| (特別損益の部) | | | |
| 特別利益 | | | |
| 固定資産売却益 | 14 | 28 | 28 |
| その他特別利益 | 5 | 4 | 175 |
| 計 | 20 | 32 | 203 |
| 特別損失 | | | |
| 固定資産処分損 | 33 | 19 | 120 |
| 投資有価証券評価損 | - | 31 | 3 |
| ゴルフ会員権評価損 | - | 135 | 135 |
| 退職給付引当金繰入額 | - | 77 | 155 |
| 特別退職金 | - | 12 | 12 |
| その他特別損失 | 5 | - | 28 |
| 計 | 38 | 276 | 455 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 186 | 523 | 984 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 47 | 291 | 452 |
| 法人税等還付金 | - | - | 134 |
| 法人税等調整額 | 301 | 94 | 356 |
| 中間(当期)純利益 | 66 | 137 | 310 |

(3) 中間連結剰余金計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 科 目 | 当中間連結会計期間 自 平成13年4月 1日 至 平成13年9月30日 | 前中間連結会計期間 自 平成12年4月 1日 至 平成12年9月30日 | 前連結会計年度 自 平成12年4月 1日 至 平成13年3月31日 |
|-----------------|---|---|---|
| 連結剰余金期首残高 | 23,286 | 23,364 | 23,364 |
| 連結剰余金減少高 | 184 | 239 | 387 |
| 株 主 配 当 金 | (147) | (202) | (350) |
| 取 締 役 賞 与 金 | (37) | (37) | (37) |
| 中 間 (当 期) 純 利 益 | 66 | 137 | 310 |
| 連結剰余金中間(期末)残高 | 23,168 | 23,261 | 23,286 |

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 年度別 科目 | 当中間連結会計期間 | 前中間連結会計期間 | 前連結会計年度 |
|------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | 自 平成13年4月 1日 至 平成13年9月30日 | 自 平成12年4月 1日 至 平成12年9月30日 | 自 平成12年4月 1日 至 平成13年3月31日 |
| | 金額 | 金額 | 金額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 税金等調整前中間(当期)純損益 | 186 | 523 | 984 |
| 減価償却費 | 557 | 573 | 1,180 |
| 貸倒引当金の増加額 | 2 | 2 | 2 |
| 賞与引当金の増減額 | 10 | 25 | 29 |
| 退職給付引当金の減少額 | 292 | 98 | 210 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 | 10 | 46 | 4 |
| 受取利息及び受取配当金 | 30 | 42 | 67 |
| 有価証券売却損益 | 1 | 4 | 175 |
| 有価証券評価損 | - | 31 | 3 |
| 支払利息 | 43 | 46 | 97 |
| 子会社清算損 | - | - | 28 |
| 有形固定資産売却損益 | 18 | 9 | 91 |
| 売上債権の増減額 | 1,521 | 588 | 547 |
| 未成工事支出金等の増減額 | 4,832 | 910 | 759 |
| 仕入債務の増減額 | 124 | 3,225 | 1,448 |
| 未成工事受入金の増減額 | 3,761 | 1,656 | 1,471 |
| その他 | 742 | 90 | 62 |
| 取締役員賞与金 | 37 | 37 | 37 |
| 小計 | 71 | 1,067 | 907 |
| 利息及び配当金の受取額 | 30 | 43 | 67 |
| 利息の支払額 | 43 | 43 | 97 |
| 法人税等の支払額 | 323 | 1,231 | 2,002 |
| 法人税等の還付額 | - | - | 95 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 239 | 2,299 | 2,844 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,281 | 932 | 1,307 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 125 | 30 | 48 |
| 有形固定資産売却手付金による収入 | - | 470 | 2,064 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1 | 6 | 226 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 19 | 6 | 280 |
| 貸付けによる支出 | 20 | 323 | 913 |
| 貸付金の回収による収入 | 41 | 33 | 502 |
| その他 | 0 | 23 | 41 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,115 | 697 | 488 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 短期借入金純減少額 | - | 400 | 450 |
| 長期借入金の返済による支出 | - | 560 | 510 |
| 配当金の支払額 | 147 | 202 | 350 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 147 | 363 | 410 |
| 現金及び現金同等物の減少額 | 1,024 | 3,359 | 2,765 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 8,838 | 11,604 | 11,604 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 7,814 | 8,244 | 8,838 |

(3) 重要な引当金の計上基準

イ) 貸倒引当金.....債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率により計上しております。

ロ) 賞与引当金.....従業員の賞与金支給に備えるため、支給見込額のうち当中間連結会計期間に帰属する部分を計上しております。

ハ) 退職給付引当金.....従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。なお、数理計算上の差異は、定額法により翌連結会計年度から5年間で費用処理することとしております。

(4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

・完成工事高の計上基準

進捗率50%以上の長期大型橋梁工事(工期1年以上、請負金額5億円以上)については工事進行基準に、その他の工事については、工事完成基準によっております。

・消費税等の会計処理.....税抜き方式によっております。

<5>中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、原則として価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に満期又は償還期限の到来する短期投資からなっております。

中間連結貸借対照表の注記

| | 当中間連結会計期間末 | 前中間連結会計期間末 | 前連結会計年度末 |
|--|------------|------------|------------|
| 1.有形固定資産の減価償却累計額 | 15,338 百万円 | 16,480 百万円 | 16,701 百万円 |
| 2.担保提供資産 (建物) | 315 百万円 | 315 百万円 | 315 百万円 |
| (土地) | 4,251 百万円 | 4,326 百万円 | 4,251 百万円 |
| 3.期末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当中間連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、中間連結会計期末残高に含まれている期末日満期手形は次のとおりであります。 | | | |
| 受取手形 | 173 百万円 | 928 百万円 | 572 百万円 |
| 4.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 | | | |

中間連結損益計算書の注記

| | 当中間連結会計期間末 | 前中間連結会計期間末 | 前連結会計年度末 |
|------------------------------|------------|------------|------------|
| 1.工事進行基準による完成工事高 | 7,929 百万円 | 7,947 百万円 | 10,753 百万円 |
| 2.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 | | | |

中間連結キャッシュ・フロー計算書の注記

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高は、中間連結貸借対照表(連結貸借対照表)の現金預金勘定の残高と一致しております。

リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引

(1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末(期末)残高相当額

| | | 当中間連結会計期間末 | 前中間連結会計期間末 | 前連結会計年度末 |
|---------------|-----------|------------|------------|----------|
| 取得価額相当額 | 機械装置・運搬具 | 8 百万円 | 27 百万円 | 8 百万円 |
| | その他有形固定資産 | 13 百万円 | 37 百万円 | 13 百万円 |
| | 合計 | 22 百万円 | 64 百万円 | 22 百万円 |
| 減価償却累計額相当額 | 機械装置・運搬具 | 5 百万円 | 22 百万円 | 5 百万円 |
| | その他有形固定資産 | 3 百万円 | 26 百万円 | 2 百万円 |
| | 合計 | 9 百万円 | 49 百万円 | 7 百万円 |
| 中間期末(期末)残高相当額 | 機械装置・運搬具 | 2 百万円 | 5 百万円 | 3 百万円 |
| | その他有形固定資産 | 10 百万円 | 10 百万円 | 11 百万円 |
| | 合計 | 13 百万円 | 15 百万円 | 14 百万円 |

(2)未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

| | 当中間連結会計期間末 | 前中間連結会計期間末 | 前連結会計年度末 |
|------|------------|------------|----------|
| 1年以内 | 3 百万円 | 5 百万円 | 3 百万円 |
| 1年超 | 9 百万円 | 9 百万円 | 11 百万円 |
| 合計 | 13 百万円 | 15 百万円 | 14 百万円 |

(3)支払リース料及び減価償却費相当額

| | 当中間連結会計期間末 | 前中間連結会計期間末 | 前連結会計年度末 |
|----------|------------|------------|----------|
| 支払リース料 | 1 百万円 | 5 百万円 | 9 百万円 |
| 減価償却費相当額 | 1 百万円 | 5 百万円 | 9 百万円 |

(4)減価償却費相当額の算出方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

5.セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間、前連結会計年度とも全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の合計額に占める鉄構製品の割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 所在地別セグメント情報

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間、前連結会計年度ともに本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社はないため、記載しておりません。

(3) 海外売上高

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間、前連結会計年度ともに海外売上高はないため、記載しておりません。

6. 生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績を事業の部門別ごとに示すと、次のとおりです。

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 項 目 | 当中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日) | | 前中間連結会計期間 (自平成12年4月1日 至平成12年9月30日) | | 前連結会計年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日) | |
|--------|---------------------------------------|--------|---------------------------------------|--------|-------------------------------------|--------|
| | 金 額 | 構成比(%) | 金 額 | 構成比(%) | 金 額 | 構成比(%) |
| 橋 梁 | 11,045 | 47.3 | 11,976 | 61.2 | 25,524 | 61.4 |
| 鉄骨・その他 | 12,284 | 52.7 | 7,584 | 38.8 | 16,060 | 38.6 |
| 合 計 | 23,330 | 100.0 | 19,561 | 100.0 | 41,584 | 100.0 |

(2) 受注状況

当中間連結会計期間における受注状況を事業の部門別ごとに示すと、次のとおりです。

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 項 目 | 当中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日) | | 前中間連結会計期間 (自平成12年4月1日 至平成12年9月30日) | | 前連結会計年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日) | | |
|------|---------------------------------------|--------|---------------------------------------|--------|-------------------------------------|--------|-------|
| | 金 額 | 構成比(%) | 金 額 | 構成比(%) | 金 額 | 構成比(%) | |
| 受注高 | 橋 梁 | 6,330 | 43.6 | 5,963 | 40.5 | 22,902 | 54.1 |
| | 鉄骨・その他 | 8,198 | 56.4 | 8,752 | 59.5 | 19,411 | 45.9 |
| | 合 計 | 14,529 | 100.0 | 14,715 | 100.0 | 42,313 | 100.0 |
| 受注残高 | 橋 梁 | 26,941 | 51.6 | 26,596 | 55.0 | 30,671 | 57.4 |
| | 鉄骨・その他 | 25,242 | 48.4 | 21,736 | 45.0 | 22,764 | 42.6 |
| | 合 計 | 52,184 | 100.0 | 48,332 | 100.0 | 53,436 | 100.0 |

(3) 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績を事業の部門別ごとに示すと、次のとおりです。

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 項 目 | 当中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日) | | 前中間連結会計期間 (自平成12年4月1日 至平成12年9月30日) | | 前連結会計年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日) | |
|--------|---------------------------------------|--------|---------------------------------------|--------|-------------------------------------|--------|
| | 金 額 | 構成比(%) | 金 額 | 構成比(%) | 金 額 | 構成比(%) |
| 橋 梁 | 10,060 | 63.8 | 12,197 | 66.6 | 25,061 | 61.4 |
| 鉄骨・その他 | 5,720 | 36.2 | 6,109 | 33.4 | 15,740 | 38.6 |
| 合 計 | 15,781 | 100.0 | 18,307 | 100.0 | 40,802 | 100.0 |

7. 有価証券

当中間連結会計期間末（平成13年9月30日現在）

(1) その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 区 分 | 取 得 原 価 | 中間連結貸借対照表計上額 | 差 額 |
|--------|---------|--------------|-------|
| (1)株 式 | 1,028 | 3,051 | 2,022 |
| (2)債 券 | - | - | - |
| (3)その他 | - | - | - |
| 合 計 | 1,028 | 3,051 | 2,022 |

(2) 時価のない有価証券の主な内容及び中間連結貸借対照表計上額

その他有価証券

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 区 分 | 中間連結貸借対照表計上額 |
|-------|--------------|
| 非上場株式 | 142 |
| 合 計 | 142 |

前中間連結会計期間末（平成12年9月30日現在）

(1) その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 区 分 | 取 得 原 価 | 中間連結貸借対照表計上額 | 差 額 |
|--------|---------|--------------|-------|
| (1)株 式 | 959 | 4,261 | 3,301 |
| (2)債 券 | - | - | - |
| (3)その他 | - | - | - |
| 合 計 | 959 | 4,261 | 3,301 |

(2) 時価のない有価証券の主な内容及び中間連結貸借対照表計上額

その他有価証券

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 区 分 | 中間連結貸借対照表計上額 |
|-------|--------------|
| 非上場株式 | 123 |
| 合 計 | 123 |

前連結会計年度末（平成13年3月31日現在）

(1) その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 区 分 | 取 得 原 価 | 連結貸借対照表計上額 | 差 額 |
|--------|---------|------------|-------|
| (1)株 式 | 1,049 | 3,655 | 2,606 |
| (2)債 券 | - | - | - |
| (3)その他 | - | - | - |
| 合 計 | 1,049 | 3,655 | 2,606 |

(2) 時価のない有価証券の主な内容及び連結貸借対照表計上額

その他有価証券

(単位：百万円、単位未満切捨)

| 区 分 | 連結貸借対照表計上額 |
|-------|------------|
| 非上場株式 | 141 |
| 合 計 | 141 |

8. デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

該当事項はありません。

平成 14年 3月期 個別中間財務諸表の概要

平成 13年 11月 27日

上場会社名 駒井鉄工株式会社

上場取引所 東・大

コード番号 5915

本社所在都道府県

問合せ先 責任者役職名 常務取締役業務本部長

東京都(本店 大阪市)

氏名 海老澤 正博

TEL (03) 3833 - 5101

中間決算取締役会開催日 平成 13年 11月 27日

中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 平成 13年 12月 10日

1. 13年 9月中間期の業績(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(1)経営成績 (注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 13年 9月中間期 | 15,343 | 4.2 | 39 | 95.9 | 79 | 92.0 |
| 12年 9月中間期 | 16,020 | 7.0 | 962 | 26.6 | 998 | 27.2 |
| 13年 3月期 | 35,331 | | 1,381 | | 1,439 | |

| | 中間(当期)純利益 | | 1株当たり中間(当期)純利益 | |
|-----------|-----------|-------|----------------|---|
| | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 13年 9月中間期 | 13 | 97.1 | 0.36 | |
| 12年 9月中間期 | 468 | 264.1 | 12.69 | |
| 13年 3月期 | 728 | | 19.73 | |

(注) 期中平均株式数 13年 9月中間期 36,907,711 株 12年 9月中間期 36,907,711 株 13年 3月期 36,907,711 株
 会計処理の方法の変更 無
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

| | 1株当たり 中間配当金 | 1株当たり 年間配当金 |
|-----------|----------------|----------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 13年 9月中間期 | 4.00 | - |
| 12年 9月中間期 | 4.00 | - |
| 13年 3月期 | - | 8.00 |

(3)財政状態

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり 株主資本 |
|-----------|--------|--------|--------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 13年 9月中間期 | 73,368 | 34,801 | 47.4 | 942.93 |
| 12年 9月中間期 | 68,327 | 35,601 | 52.1 | 964.62 |
| 13年 3月期 | 68,969 | 35,309 | 51.2 | 956.70 |

(注)期末発行済株式数 13年 9月中間期 36,907,711 株 12年 9月中間期 36,907,711 株 13年 3月期 36,907,711 株

2. 14年 3月期の業績予想(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり年間配当金 | |
|-----|--------|------|-------|------------|------|
| | | | | 期 末 | |
| 通 期 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 |
| | 37,500 | 100 | 2,100 | 4.00 | 8.00 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 56円90銭

9. 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 資 産 の 部 | | | |
|-----------|----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 科 目 | 当中間会計期間末 (平成13年9月30日現在) | 前中間会計期間末 (平成12年9月30日現在) | 前事業年度末 (平成13年3月31日現在) |
| 流動資産 | 38,776 | 33,765 | 34,766 |
| 現金預金 | 6,401 | 6,950 | 7,353 |
| 受取手形 | 4,230 | 3,143 | 3,062 |
| 完成工事未収入金 | 6,327 | 6,348 | 7,897 |
| 未成工事支出金 | 19,258 | 15,688 | 14,900 |
| 材料・貯蔵品 | 17 | 16 | 18 |
| 繰延税金資産 | 165 | 121 | 77 |
| その他流動資産 | 2,379 | 1,497 | 1,458 |
| 貸倒引当金 | 4 | 1 | 1 |
| 固定資産 | 34,592 | 34,562 | 34,202 |
| 有形固定資産 | (29,031) | (27,534) | (27,991) |
| 建物・構築物 | 8,724 | 7,433 | 7,317 |
| 機械・運搬具 | 2,961 | 2,785 | 2,584 |
| 工具器具・備品 | 392 | 371 | 428 |
| 土地 | 16,861 | 16,921 | 16,941 |
| 建設仮勘定 | 90 | 21 | 719 |
| 無形固定資産 | (252) | (285) | (275) |
| ソフトウェア | 116 | 125 | 136 |
| 施設利用権 | 123 | 147 | 126 |
| その他無形固定資産 | 11 | 11 | 11 |
| 投資等 | (5,308) | (6,742) | (5,936) |
| 投資有価証券 | 3,176 | 4,374 | 3,784 |
| 子会社株式 | 1,235 | 1,235 | 1,235 |
| 長期貸付金 | 84 | 299 | 85 |
| 従業員長期貸付金 | 200 | 210 | 210 |
| 長期差入保証金 | 604 | 614 | 612 |
| その他投資等 | 8 | 8 | 8 |
| 貸倒引当金 | 0 | 0 | 0 |
| 資産合計 | 73,368 | 68,327 | 68,969 |

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 負 債 の 部 | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 科 目 | 当中間会計期間末 | 前中間会計期間末 | 前事業年度末 |
| | (平成13年9月30日現在) | (平成12年9月30日現在) | (平成13年3月31日現在) |
| 流動負債 | 34,222 | 25,701 | 28,875 |
| 支払手形 | 2,469 | 2,057 | 2,185 |
| 工事未払金 | 8,167 | 6,123 | 7,594 |
| 短期借入金 | 3,300 | 3,200 | 3,300 |
| 一年以内償還予定社債 | 2,000 | - | 2,000 |
| 未払金 | 751 | 465 | 403 |
| 未払費用 | 341 | 386 | 474 |
| 未払法人税等 | 57 | 299 | - |
| 未成工事受入金 | 12,851 | 11,621 | 9,368 |
| 預り金 | 126 | 36 | 36 |
| 賞与引当金 | 349 | 345 | 345 |
| 営業外前受金 | 2,050 | - | 2,064 |
| 設備関係支払手形 | 1,122 | 6 | 722 |
| その他流動負債 | 635 | 1,159 | 379 |
| 固定負債 | 4,344 | 7,023 | 4,784 |
| 社債 | - | 2,000 | - |
| 繰延税金負債 | 2,354 | 2,661 | 2,513 |
| 退職給付引当金 | 1,796 | 2,204 | 2,094 |
| 役員退職慰労引当金 | 193 | 157 | 175 |
| 負債合計 | 38,567 | 32,725 | 33,659 |
| 資 本 の 部 | | | |
| 資本金 | 6,619 | 6,619 | 6,619 |
| 法定準備金 | 7,010 | 6,976 | 6,991 |
| 資本準備金 | 6,273 | 6,273 | 6,273 |
| 利益準備金 | 736 | 703 | 717 |
| 剰余金 | 20,002 | 20,091 | 20,188 |
| 配当準備積立金 | 205 | 205 | 205 |
| 固定資産圧縮積立金 | 3,401 | 3,389 | 3,389 |
| 特別償却準備金 | 43 | 54 | 54 |
| 東京湾横断道路株式控除積立金 | 0 | 0 | 0 |
| 別途積立金 | 15,810 | 15,410 | 15,410 |
| 中間(当期)未処分利益 | 542 | 1,031 | 1,129 |
| (中間(当期)純利益) | (13) | (468) | (728) |
| その他有価証券評価差額金 | 1,168 | 1,913 | 1,509 |
| 資本合計 | 34,801 | 35,601 | 35,309 |
| 負債・資本合計 | 73,368 | 68,327 | 68,969 |

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 科 目 | 当 中 間 会 計 期 間 | 前 中 間 会 計 期 間 | 前 事 業 年 度 |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 自 平成13年4月1日 至 平成13年9月30日 | 自 平成12年4月1日 至 平成12年9月30日 | 自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日 |
| (経常損益の部) | | | |
| 営業損益 | | | |
| 完成工事高 | 15,343 | 16,020 | 35,331 |
| 完成工事原価 | 13,847 | 13,608 | 31,044 |
| 完成工事総利益 | 1,496 | 2,412 | 4,287 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,456 | 1,450 | 2,905 |
| 営業利益 | 39 | 962 | 1,381 |
| 営業外損益 | | | |
| 営業外収益 | | | |
| 受取利息配当金 | 45 | 58 | 83 |
| その他営業外収益 | 31 | 19 | 55 |
| 計 | 76 | 78 | 139 |
| 営業外費用 | | | |
| 支払利息 | 23 | 16 | 42 |
| 社債利息 | 13 | 24 | 37 |
| その他営業外費用 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 36 | 42 | 81 |
| 経常利益 | 79 | 998 | 1,439 |
| (特別損益の部) | | | |
| 特別利益 | | | |
| 固定資産売却益 | 14 | 27 | 27 |
| 投資有価証券売却益 | - | - | 171 |
| 計 | 14 | 27 | 199 |
| 特別損失 | | | |
| 固定資産処分損 | 32 | 15 | 106 |
| 投資有価証券評価損 | - | 3 | 3 |
| ゴルフ会員権評価損 | - | 107 | 111 |
| 退職給付引当金繰入額 | - | 52 | 105 |
| その他特別損失 | 1 | - | - |
| 計 | 34 | 179 | 327 |
| 税引前中間(当期)純利益 | 60 | 846 | 1,310 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 47 | 260 | 410 |
| 法人税等還付金 | - | - | 134 |
| 法人税等調整額 | 0 | 118 | 306 |
| 中間(当期)純利益 | 13 | 468 | 728 |
| 前期繰越利益 | 528 | 563 | 563 |
| 中間配当額 | - | - | 147 |
| 利益準備金積立額 | - | - | 14 |
| 中間(当期)未処分利益 | 542 | 1,031 | 1,129 |

(3)中間財務諸表作成の基本となる重要事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産

未成工事支出金 個別法による原価法

材料・貯蔵品 移動平均法による原価法

(2) 有価証券

子会社株式.....移動平均法による原価法

その他有価証券

イ. 時価のあるもの.....中間期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

ロ. 時価のないもの.....移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産..... 建物は定額法、建物以外は定率法

主な耐用年数 建物 15年～50年

機械装置 13年

通常の操業度を超えて稼働した機械装置については、会社が定めた基準に基づき増加償却を実施しております。

(2) 無形固定資産..... 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金..... 債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率により計上しております。

(2) 賞与引当金..... 従業員の賞与金支給に備えるため、支給見込額のうち、当中間会計期間に帰属する部分を計上しております。

(3) 退職給付引当金..... 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。なお、数理計算上の差異は、定額法により翌期から5年間で費用処理することとしております。

(4) 役員退職慰労引当金..... 役員の退職慰労金の支出に備えて、当社内規に基づく当中間期末要支給額を計上しております。これは、商法第287条/2に規定する引当金であります。

4. 完成工事高の計上基準

進捗率50%以上の長期大型橋梁工事（工期1年以上、請負金額5億円以上）については工事進行基準に、その他の工事については、工事完成基準によっております。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 消費税等の会計処理は、税抜き方式を採用しております。

中間貸借対照表の注記

| | 当中間会計期間末 | 前中間会計期間末 | 前事業年度末 |
|--|------------|------------|------------|
| 1.有形固定資産の減価償却累計額 | 12,779 百万円 | 13,775 百万円 | 14,211 百万円 |
| 2.担保提供資産 (土地) | 3,935 百万円 | 3,935 百万円 | 3,935 百万円 |
| (土地、登記留保) | - 百万円 | 75 百万円 | - 百万円 |
| 3.中間期末(期末)日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当中間会計期間の末日は金融機関の休日であったため、中間会計期末残高に含まれている中間期末(期末)日満期手形は次のとおりであります。 | | | |
| 受取手形 | 172 百万円 | 854 百万円 | 561 百万円 |
| 4.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 | | | |

中間損益計算書の注記

| | 当中間会計期間 | 前中間会計期間 | 前事業年度 |
|------------------------------|-----------|-----------|------------|
| 1.工事進行基準による完成工事高 | 7,929 百万円 | 7,947 百万円 | 10,753 百万円 |
| 2.有形固定資産の減価償却実施額 | 461 百万円 | 457 百万円 | 952 百万円 |
| 3.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 | | | |

リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引

(1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末(期末)残高相当額

| | 当中間会計期間 | 前中間会計期間 | 前事業年度 |
|---------------|---------|---------|-------|
| 備 品 | | | |
| 取得価額相当額 | 3 百万円 | 3 百万円 | 3 百万円 |
| 減価償却累計額相当額 | 0 百万円 | 0 百万円 | 0 百万円 |
| 中間期末(期末)残高相当額 | 2 百万円 | 3 百万円 | 3 百万円 |

(2)未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

| | 当中間会計期間 | 前中間会計期間 | 前事業年度 |
|---------|---------|---------|-------|
| 1 年 以 内 | 0 百万円 | 0 百万円 | 0 百万円 |
| 1 年 超 | 2 百万円 | 2 百万円 | 2 百万円 |
| 合 計 | 2 百万円 | 3 百万円 | 3 百万円 |

(3)支払リース料及び減価償却費相当額

| | 当中間会計期間 | 前中間会計期間 | 前事業年度 |
|----------|---------|---------|-------|
| 支払リース料 | 0 百万円 | 0 百万円 | 0 百万円 |
| 減価償却費相当額 | 0 百万円 | 0 百万円 | 0 百万円 |

(4)減価償却費相当額の算出方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

10. 製品別完成工事高、受注及び受注残高

(1) 完成工事高

(単位未満切捨)

| 項 目 | 当 中 間 期 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 9 月 30 日) | | 前 中 間 期 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 12 年 9 月 30 日) | | 前 期 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日) | |
|--------|---|---------------------------|---|----------------------------|---|----------------------------|
| | 数 量 | 金 額 (構 成 比) | 数 量 | 金 額 (構 成 比) | 数 量 | 金 額 (構 成 比) |
| 橋 梁 | t 12,915 | 百万円 (%) 9,860 (64.3) | t 14,099 | 百万円 (%) 11,562 (72.2) | t 28,061 | 百万円 (%) 23,077 (65.3) |
| 鉄骨・その他 | 30,834 | 5,482 (35.7) | 25,634 | 4,458 (27.8) | 66,469 | 12,254 (34.7) |
| 合 計 | 43,749 | 15,343 (100.0) | 39,734 | 16,020 (100.0) | 94,530 | 35,331 (100.0) |

(2) 受注高

(単位未満切捨)

| 項 目 | 当 中 間 期 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 9 月 30 日) | | 前 中 間 期 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 12 年 9 月 30 日) | | 前 期 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日) | |
|--------|---|---------------------------|---|---------------------------|---|----------------------------|
| | 数 量 | 金 額 (構 成 比) | 数 量 | 金 額 (構 成 比) | 数 量 | 金 額 (構 成 比) |
| 橋 梁 | t 4,971 | 百万円 (%) 5,688 (42.4) | t 6,688 | 百万円 (%) 5,126 (41.6) | t 25,205 | 百万円 (%) 20,967 (54.6) |
| 鉄骨・その他 | 48,115 | 7,732 (57.6) | 43,474 | 7,196 (58.4) | 94,835 | 17,442 (45.4) |
| 合 計 | 53,086 | 13,420 (100.0) | 50,163 | 12,323 (100.0) | 120,040 | 38,409 (100.0) |

(3) 受注残高

(単位未満切捨)

| 項 目 | 当 中 間 期 (平成 13 年 9 月 30 日現在) | | 前 中 間 期 (平成 12 年 9 月 30 日現在) | | 前 期 (平成 13 年 3 月 31 日現在) | |
|--------|---------------------------------|----------------------------|---------------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | 数 量 | 金 額 (構 成 比) | 数 量 | 金 額 (構 成 比) | 数 量 | 金 額 (構 成 比) |
| 橋 梁 | t 29,628 | 百万円 (%) 25,107 (51.0) | t 33,017 | 百万円 (%) 24,953 (56.3) | t 37,573 | 百万円 (%) 29,279 (57.3) |
| 鉄骨・その他 | 134,835 | 24,107 (49.0) | 107,028 | 19,407 (43.7) | 117,554 | 21,857 (42.7) |
| 合 計 | 164,464 | 49,214 (100.0) | 140,046 | 44,361 (100.0) | 155,127 | 51,137 (100.0) |